

2023年度事業計画書

自 2023年 4月 1日

至 2024年 3月31日

I. 事業の目的

当法人は国の社会的ニーズが高い大学理工学分野の学部学生及び大学院生に対し、奨学支援を通して人材の育成を図るとともに、若手研究者の科学技術に関する研究開発の奨励及び助成を行うことにより、わが国の工業の発展と産業における生産技術の振興を促すことを目的としています。

この目的を達成するため、日本全国において、次の事業を行います。

1) 奨学事業：

人物・学業ともに優秀で修学に支障のない健康を維持しながらも、経済的理由により修学が困難或いは支障がある学部学生・大学院生に対する奨学金の給付及び指導

2) 研究助成事業：

エネルギー及び炭化水素有効利用に関連する分野に於ける技術開発・研究開発の奨励、調査研究の助成、科学技術に係る研究成果の普及に関する助成

II. 事業内容

1. 奨学事業

1) 採用計画： 前年度と同じ指定12大学から新規奨学生として23名、継続奨学生として27名を採用します。

また、前年度奨学事業価値向上ワーキング・グループにおいて制度設計等の詳細検討を実施した結果、本事業強化策の一つとして、新たに本年度より奨学金給付対象を博士後期課程大学院生に拡げ博士後期課程に進学する、または既に在籍している当財団奨学生から若干名を博士後期課程奨学生として採用することとしました。これは奨学事業の理工学分野学生から研究助成事業の若手研究者に至る切れ目の無い支援・育成を図るという当財団の目的に適うものと考えます。

	<u>本年度計画</u>	<u>前年度実績</u>	<u>増 減 (-)</u>
前年度からの継続生	27名	21名	6名
本年度の新規採用生	23名	29名	-6名
<u>博士後期課程の奨学生</u>	<u>4名</u>	注2) <u>4名</u>	<u>0名</u>
合 計 注1)	54名	54名	0名

注1) 大学別内訳は9ページ添付資料の通りです。

注2) 前年度は単年度トライアルとして、D1奨学生4名を別枠採用しました。

2) 奨学金給付予算額： 従来予算額2,400万円に、博士課程後期奨学生給付額(最大)192万円を加えた2,592万円とします。

給付基準： 月額 一人当たり4万円 年額 一人当たり48万円
給付総額： 年額 2,592万円（最大見込み）

3) 主要な活動計画（予定）：

2023年	2月下旬	新規奨学生募集開始
	4月20日	新規奨学生募集締切
	5月11・12日	新規奨学生個別面接（対面及びWEBによる）
	5月26日	奨学生選考委員会にて最終選考
	6月2日	理事会にて新規・継続奨学生の決定
	6月中旬	新規・継続奨学生採用通知

2023年6月～2024年2月 月例会開催と奨学金の給付（原則毎月20日）
地区毎に育成・相互交流のための行事（年間2回程度）

2024年3月 上旬 全国合同卒業生送別会開催（東京）

- (1) 奨学金を毎月手渡しで行い、大学での研究テーマの発表や身近な話題、時事問題を話し合う等奨学生間における交流・自己啓発の機会を持つ。
- (2) 企業の工場見学等を企画し、実際に企業で働く人達との交流を深め見識を広める。
- (3) 各地区で奨学生育成・相互交流のためのイベントを企画し実施する。
- (4) 昨年度に引き続き、奨学事業の価値向上などについての検討、HP等を活用して奨学生相互や奨学会OB/OGを含めた情報交換や情報共有等の施策の展開を図る。

2. 研究助成事業

- 1) 助成対象者と助成目的：指定14大学並びに財団評議員・理事・選考委員が推薦する大学（推薦大学）の関連学部・大学院及び研究機関の博士号を有する若手研究者（教授は除く）を対象とし広く募集を行います。

エネルギー及び炭化水素有効利用に関連する分野に於ける独創的・創造的研究を指向する若手研究者の育成を推進するため、萌芽的な研究、ユニークな研究、若しくはチャレンジングな研究に重きを置き助成します。

- 2) 募集対象：指定大学14校は従来通り、また推薦大学の決定方法についても前年度からの変更はありません。

- 3) 助成対象となる研究分野：募集要項については前年度からの変更はありません。
+分野・テーマはこれまでのものを維持
+選考に於けるテーマ該当性判断の柔軟性を強調するべく注記を記述

基幹技術・先端（先進）技術を問わず以下の研究開発テーマ

（１）エネルギーに関連する次の分野

- ① エネルギー製造・輸送・貯蔵等に関する研究開発
- ② エネルギー利用効率化に関する研究開発
- ③ 代替エネルギーに関する研究開発
- ④ 環境保全や安全向上のための研究開発
- ⑤ エネルギー効率向上等に資する工業材料に関する研究開発

（２）炭化水素有効利用に関連する次の分野（但し、医薬品関連を除く）

- ① 炭化水素誘導体及びその製造法に関わる研究開発
- ② 炭化水素をベースとする新素材の研究開発

注）当財団は旧ゼネラル石油株式会社からの寄付により設立されたものですが、支援対象とする研究には石油精製や石油化学のような規模やこれらの産業に資することを必ずしも求めてはおりません。支援対象とする研究は学術的な成果が期待出来るものや、その時代の要請に応えるような技術開発研究等であり、脱炭素・低炭素を支える研究なども積極的に支援しています。

研究テーマの該当性については柔軟性をもって判断しています。過去に助成を受けた研究テーマを年度毎に纏めてHP上に掲載していますので、そちらも参考にしてください。

4) 情報の取扱い：募集要項及び財団役員・選考委員等の就任承諾書に守秘義務を明記しています。

(1)応募の際に提出された個人情報、技術・研究情報は、選考手続きのみに使用します。

(2)助成決定後には、①氏名・所属機関名・職位、②研究課題名・内容、⑤助成金額、⑥研究成果報告、⑦財団主催の行事等で撮影された写真をHP上に掲載する以外には公開せず、またこれらの資料も財団の文書管理規程に則り厳重に管理し、所定の保存期間後には速やかに破棄します。

(3)選考委員、事務局を含む全ての財団関係者は提出された情報について守秘義務を負っております。

5) 研究助成予算額：収益及び奨学事業とのバランスを考慮し、前年度予算と同様の計画です。

- (1) 予算総額： 2,700万円 (前年度実績 2,720万円 *)
 *優秀受賞者への増額配分により、若干予算を上回りました。
- (2) 助成件数： 18件～24件 (前年度実績 24件)
- (3) 助成額(1件当り)： 1件当り原則100万円 (前年度最高150万円)
 *特に優れた研究には増額を検討・支給します。
- (4) 助成期間： 1年間

6) 主要な活動計画 (予定) :

2023年	6月 中旬	研究助成案件の募集開始
	8月 末	応募締切
	9月 下旬	第1次選考
	11月 下旬	第2次選考
	12月 中旬	選考委員会にて最終選考
	同 上	理事会にて研究助成金受賞者を決定
	同 上	応募者へ選考結果を通知
2024年	2月 中旬	研究助成金贈呈式を開催 (東京)

【参考】 理事会・評議員会開催予定:

1) 理事会 (決議事項等)

2023年	6月 2日	・2022年度 事業報告及び決算の審議
		・2023年度 奨学生最終選考
		・定時評議員会招集に関する決議
	12月 中旬	・2023年度 研究助成案件最終選考
2024年	2月 中旬	・2024年度 事業計画・収支予算の審議

2) 評議員会

2023年	6月23日	・2022年度 計算書類等の承認
		・2022年度 事業報告

以上

<添付資料>

奨学生採用計画 大学別内訳表

大学名	継続生				新規 奨学 生	2023 年度 合計	奨学生数の推移		
	学部 4年	修士 1年	修士 2年	計			2022 年度	2021 年度	2020 年度
北 大	0	1	1	2	1	3	3	3	3
東北大	0	2	1	3	2	5	5	5	5
東 大	0	2	0	2	3	5	5	5	5
東工大	1	1	1	3	2	5	5	5	5
横国大	0	1	1	2	2	4	4	4	4
早 大	0	2	0	2	2	4	4	4	4
慶 大	1	0	1	2	2	4	4	4	4
名工大	0	2	0	2	1	3	3	3	3
名 大	0	0	2	2	0	2	2	2	2
京 大	0	1	2	3	2	5	5	4	5
阪 大	0	0	2	2	3	5	5	5	5
九 大	0	1	1	2	3	5	5	5	5
合 計	2	13	12	27	23	50	50	49	50

(内、新規採用人数)

(31) (20) (20)

博士課程後期奨学生(若干名)

4名

4名

*4名

(*単年度トライアル実績)